



伊田眼科クリニック

明るく広々とした
ガラス張りの待合室
開放感溢れる検査室



2月フロータウンに開院。電子カルテを導入、
医院のIT化により検査室、手術室、診察室を機能的に配置。

<http://www.ida-ganka.com>

M's
所在地 三田市武庫が丘7丁目7の4
ビル1階 ☎ 079(5556) 8600

【診療時間】午前診／午前9時30分～午後1時
開院年月日 平成21年2月14日

【休診日】土曜、木曜の午後診・日曜・祝日
火曜の午後診は手術



伊田 富史 院長プロフィール
平成7年関西医科大学卒
医学博士

高齢者層では白内障、緑内障の治療が
継続する事が大切です。
精疲労と密接に関連し、放置せず治療を
される方が多く、前述のワックは眼精疲労
が軽減します。花粉症、ドライアイは、眼
精疲労と密接に関連し、放置せず治療を
される方が多く、適切な薬の処方で症状
が軽減します。

当院では疾患
別に詳しい
説明を行って
おり、皆様の
来院をお待ち
しております。



開院以来、各年齢層の方が来院されますが、どの年代でも視能矯正は重要です。小児、学童期では、雲霧法(ワック)や調節麻痺薬により近視、遠視、乱視の矯正量を判断する事、また眼鏡の交換時期には、両眼視検査が欠かせません。若年から壮年層は、パソコン操作などで眼精疲労を訴える方が多く、前述のワックは眼精疲労

中心です。この年代は目の調節力が低下し、作った眼鏡が極端に合わなくなることはありませんが、視力が出ない場合、白内障手術をお薦めしています。緑内障は、今後新しい点眼薬の効果が期待でき、点眼回数を減らせる可能性があります。また、40歳代以上のコンタクトレンズ選びは遠近両用の使い捨てレンズが好評です。

【診療科目】 眼科一般・日帰り手術

コンタクトレンズ取り扱い